



Title	革命期及びソ連初期におけるカザフ人とクルグズ人エリートの関係について
Author(s)	ベクトゥルスノフ, ミルラン
Citation	日本中央アジア学会報, 15, 96-97
Issue Date	2019-07-31
DOI	10.14943/jacas.15.96
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/88373">http://hdl.handle.net/2115/88373</a>
Type	article
File Information	JB015_009bektursunov.pdf



[Instructions for use](#)

## 革命期及びソ連初期における カザフ人とクルグズ人エリートの関係について

ベクトゥルスノフ・ミルラン

本報告は1917年から1924年にかけての、カザフ人とクルグズ人の政治エリートの相互関係を分析したものである。よく知られているように、ソヴィエト中央アジアに民族共和国が出来たのは1924年になってからであり、それ以前のソヴィエト中央アジア領はトルキスタン自治ソヴィエト社会主義共和国、ブハラとホレズム両人民ソヴィエト共和国といった3つの国家形態から成っていた。各共和国の民族構成は多様であり、様々な民族間の交流が進んでいた。そこで、本報告ではトルキスタン自治共和国に注目し、カザフ人とクルグズ人の政治エリートの交流や共同活動を検討し、彼らの相互関係が1924年に実施されるそれぞれの民族共和国の形成にどのように影響を与えたのかを分析する。

互いに親しい民族と言われるカザフ人とクルグズ人の民族エリートは1917年のロシア革命期に積極的に共同政治活動を行っていた。1917年中に作られた「カザフ人・クルグズ人委員会」や彼らが直面していた政治社会問題を議論するために開かれていた地域大会、共同出版活動などが知られている。1917年12月に開かれた全カザフ大会は「共通の起源、文化、歴史及び言語を持つカザフ人とクルグズ人の居住地域からアラシュ民族自治を設立する」という決議を採択し、両民族の政治的統一を強調した。しかし、ロシア全体で始まった内戦のため彼らのアラシュ自治は実現まで及ばなかった。

上記に触れた彼らの政治活動が従来の先行研究でも部分的に知られていたが、本報告で強調したいのはこれらの共同活動におけるクルグズ人エリートの立場である。この時期のカザフ人との協力関係をクルグズ人エリートがどのように見ていたのかはよく知られていなかった。本報告ではクルグズ人のトレクル・ジャヌザコフが1917年に書いた新聞記事を参照し、クルグズ人エリートにはカザフ人と共同活動を続けながら自らの独自性を主張した人たちがいたことを示した。

その独自性がはっきりと表れてきたのは1922年のことである。同年の3月にクルグズ人エリートがトルキスタン自治ソヴィエト社会主義共和国内で山岳カラ・クルグズ州を形成する問題を取り上げた。従来の先行研究と違って本報告では山岳カラ・クルグズ州の形成問題

にトルキスタン自治共和国の要職にいたカザフ人エリートが積極的に関わり、支持していたことを明らかにした。特に、トルキスタン共産党の書記を務めていたナジル・トレクロフとトルキスタン共産党中央委員会の委員だったスルタンベク・ホジャノフたちの役割が大きかったことを示した。

しかし、今まで続いてきたカザフ人とクルグズ人エリートの共同活動は1924年に行われた中央アジア民族・共和国境界画定によって結末を迎えた。民族・共和国境界画定と言うのは、今までのソヴィエト中央アジア領を成していたトルキスタン、ブハラ、ホレズム共和国を解体させ、代わりに民族別の共和国を形成する過程であった。カザフ人とクルグズ人が共に暮らしてきた一つの共同体としてのトルキスタンが解体されることになると、クルグズ人エリートはカザフ人との距離を主張し、自らの独自性を強調するようになった。土地・利水改革の遺産を保護することや、畜産を発展させるために中央政権に訴えることなどにおいて同じ生活様式（遊牧・反遊牧）を持つカザフ人とクルグズ人の同盟はトルキスタンという枠組みが存在する限り意味を持っていた。しかし、トルキスタンの解体が現実にならんとすると、トルキスタン共和国のカザフ人居住地域と共に既存のカザフ共和国<sup>(1)</sup>に編入されてしまう可能性に警戒を持ったクルグズ人エリートは反発したのである。その結果、当初から計画になかったクルグズ人の自治問題が民族・共和国境界画定に追加され、最終的に1924年の秋にカラ・クルグズ自治州として形成されたのである。

このように、1917年から1924年の間に両民族の政治エリートの関係はアラシュ自治の例で見られるように一つの国家を形成する政治的同盟から互いに完全に独立した民族共和国を形成する形で展開していった。彼らの関係は同時代の不安定な政治・経済的状况に依存していたと言える。最終的に、彼らはそれぞれの自治を追求して、それぞれの道を歩んでいくことになるが、その理由は彼らの相互関係が急に悪化したことよりは、中央政権が実施した民族・共和国境界画定にあると考えられる。

(北海道大学大学院文学研究院)

---

(1) 1920年にステップ地方で設立されたカザフ自治共和国のことである。当時はロシア語では Киргизская Республика として呼ばれており、1924年の中央アジア民族・共和国境界画定の時にトルキスタンとブハラ、ホレズム共和国らのカザフ人居住地域をも取り入れた。